

## 装置活用事例⑤

# X線CTを用いた体積の測定

### ➤ 要望

複雑な形状をしている試料の体積を調べたい。

### ➤ 課題

内部構造を有していたり、表面が曲面であったり、小さい試料であるなど、複雑な形状をしている試料の体積を求めるのは困難である。

### ➤ 対応内容

X線CTの画像から試料の形状を取得し、試料の境界を定めることにより、試料の体積を計算することができる。ただし、試料境界の設定条件、撮影時のノイズなどの影響もあるため、計算値は目安の値となり、得られた結果を保証するものではない。

#### <測定例>アルミ合金鋳物の体積測定(重量)

アルミ合金鋳物(AC2A)のテストピースの重量を測定した。この重量の測定値と比重( $2.79 \times 10^3[\text{kg}/\text{m}^3]$ )から体積を計算した。また、同じ試料をX線CTで撮影し、その撮影データから体積を計算した。

#### 重量測定



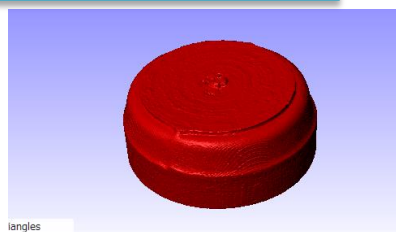
重量[g]

17.0798

体積[mm<sup>3</sup>]

6122

#### X線CTによる測定



体積[mm<sup>3</sup>]

6179

### ➤ 使用装置

装置名:非破壊構造解析装置  
(TOSCANER-FTC32251  $\mu$  hd)

主な用途:X線CT撮影

主な仕様:最大出力 255kV/622  $\mu$  A

焦点寸法 4  $\mu$  m

最大撮像範囲  $\phi$  200mm  $\times$  H100mm

試料重量 15kg以内

→詳しくは

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/w4/hightech/db/equipment/detail.php?no=89>

#### 【問い合わせ先】

工業材料科 Tel:024-959-1737

E-mail:hightech-kougyou@pref.fukushima.lg.jp



使用料:12,040円/時間